

患者さんへ

## 「骨折関連感染症（FRI）に対する高濃度抗菌薬局所注入の有用性」に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

### 1. 研究の対象

2018年8月より2020年2月までに当院で、高濃度抗菌薬局所注入を施行した、四肢骨折術後深部感染を罹患した患者さん

### 2. 研究目的・方法

骨折関連感染に対する高濃度抗菌薬局所注入の有用性を検討します。これにより、インプラントを温存したまま、感染を鎮静化し、骨癒合が得られた可能性がありますので、過去の診療録のデータからそれを検討します。研究実施期間は、当院施設院長承認後から2020年12月までです。

### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、感染鎮静化の有無、骨癒合の有無、抗生剤の血中濃度と排泄濃度 等

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

長谷川真之

医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 外傷整形外科

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

TEL：0467-46-1717（病院代表）

（2020年8月7日作成（第1.1版））

雛形 2019.12.18